

シンポジウム

「五感を活用したサイン環境デザインの可能性」

日本福祉のまちづくり学会東海北陸支部の金沢市内で、サイン環境特別研究委員会委員によるこれまでの調査研究成果を中心にシンポジウムを行います。関係各位のご参加を多数お待ちしております。

主 旨：都市空間の大規模化や複雑化の中で、多様な人の身体特性を考慮して、歩行空間のわかりやすさや移動のしやすさが求められる。サインはそのための有効な手段の一つであるが、現状はサイン単独で設置される場合が多く、システムとして連携が図られていない場合や、ビジュアルサインとして視覚のみにゆだねている場合が多い。このシンポジウムでは、国内外のサインの現状と到達状況を確認し、五感を活用したサイン環境デザインの可能性など、今後のサイン環境としての整備のあり方について討議する。

日 時：2015年2月28日（土）13:30～16:30

会 場：金沢勤労者プラザ（きんぷら）405 研修室 <http://kinpura.com/map.html>

プログラム：受付 13:00 から

◇開会あいさつ・主旨説明： 田中直人（島根大学）

◇第一部： 大阪都心部におけるサイン環境調査報告

①梅田地区調査 ②難波地区調査

土田義郎（金沢工業大学）

岩田三千子（摂南大学）

◇第二部： 北欧海外事例にみるサイン環境の調査報告：

①デンマーク ②フィンランド ③スウェーデン 他

田中直人（前掲）

岩田三千子（前掲）

土田義郎（前掲）

大森清博（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）

◇第三部： ディスカッション

「これからのサイン環境はどうあるべきか —これまでのサイン環境の到達状況をふまえて」

岩田三千子（前掲）、土田義郎（前掲）、大森清博（前掲）・

北川博巳（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）、田中直人（前掲／司会）

安部信行（八戸工業大学／記録担当）

◇閉会あいさつ： 池田典弘（株式会社キクテック）

参加費：会員 1,000 円、会員外 2,000 円、学生 500 円（資料代含／当日会場払い）

定 員：50 名（事前申込み先着順）

申込み：田中 直人（島根大学）t-naoto@riko.shimane-u.ac.jp

件名に「2/28 シンポジウム申込み（福まち）」、

本文中に「氏名、所属、連絡先、参加費区分」をお書きください

情報保障のご利用については事前にメールでご相談ください

